



写真1:中間振り返りでの議論の様子。全行程の中ごろに、これまでの印象を語り合うことによって、理解をお互いに深めるとともに、帰国後の授業での実践方法等を検討しました。

写真2:カンボジアの街中の風景(バイクの4人乗り)。カンボジアの街そのものが刺激的でした。

写真3:福島隊員の授業風景。福島隊員は現職教員特別参加制度を活用し参加しています。同じ教員のカンボジアでの活動、そして鍵盤ハーモニカを一生懸命に演奏する子供たちの姿に大きな刺激を受けました。

写真4:草の根技術協力事業「初等教育支援事業」の現場を訪問した際には、カンボジアの先生方と意見交換を行いました。



開発教育支援の現場から

JICA札幌で開発教育・国際理解教育指導者研修が行われました

1月28、29日の2日間にわたり、開発教育・国際理解教育指導者研修を行い、約60名の先生方が参加しました。

今年の研修では、より学校現場に焦点をあて、参加型学習について学ぶとともに、多くの実践事例を積んできた先生方にその事例紹介をしていくだけとともに、授業計画案を作成するグループワーク、そしてその発表を行いました。

授業計画案の作成・発表では、短い時間であったにもかかわらずグループ間で活発な議論が行われ、そして発表の時間では他の参加者を生徒に見立てての模擬授業を行う等、先生方のやる気にあふれた研修でした。

(JICA札幌 磯貝)



左:授業計画案の発表での一コマ(小学校の部)。参加者が生徒となり、南米の方式でじゃんけんを行っています
右:「参加型学習手法」の一コマ。フォトランゲージ。一つの写真についてのグループ内の議論が盛り上がっています

JICA札幌ニュース



JICA研修員 雪とたわむれ 「オーチンすばらしい!!」

さっぽろ雪まつりの直前の2月5日、JICA札幌でスノーワールドが開催されました。さっぽろ雪まつり会場の大通公園にJICA札幌も続けど、JICA札幌の中庭に雪だるまやかまくらをJICA研修員(食品保健行政(アフリカ諸国)、地方教育行政セミナー)や日本人が力を合わせました。雪をはじめて見る研修員がほとんど、「雪ってすごい」との感嘆からスタートした雪遊び、時間の経過とともに氷点下10度近くまで温度が下がる中、約3時間後、無事、完成しました。キャンドルをともした瞬間、研修員たちから「すごい……」との感嘆の声がいっぱいにあがりました。雪に慣れている中央アジアからの参加者からも「オーチン(とっても)すばらしい!!」の一言。JICA研修員と関係者が一つになった瞬間でした。

(NRC 松居)



JICA札幌の中庭がこのように
幻想的になりました



はじめて作った雪だるま。
どこなく異国情緒が漂っています



故郷に錦を?! 富良野での出前講座 —旭川から—

12月14日、上富良野高校に行き、3年生にJICAの国際協力やエジプトでの青年海外協力隊の活動について「出前講座」を行いました。高校は違うものの、富良野出身の私、普段の出前講座より緊張気味でのぞみました。

緊張のせいか、いつもよりハイテンション気味に話をしてしまい、生徒が引いてしまうのではと危惧したのですが、上富良野高校のご協力で事前に「JICA/パネル展」を校内で開催していた事もあって、生徒の皆さんからは、JICA事業や当日紹介したエジプトに関する質問が多数出ました。また、講座終了後には「将来、協力隊に参加したいのですが…」と言ってくれた生徒さんも居て協力隊OBとしては嬉しいかぎりでした。

(国際協力推進員(旭川) 烏居)



出前講座の定番スタイル。
エジプトの民族衣装に身を包み話す推進員



地球まつりが開催されました —函館から—

去る11月20日(土)函館市国際交流プラザにて第1回地球まつりが開催!! 道南地方の国際交流・協力団体が顔を合わせ、自分たちの活動をパネル展示などで紹介しました。その他、青年海外協力隊OBの馬頭琴や函館白百合高校吹奏楽部の演奏、アフリカンダンス、世界の料理、スタンブラーなど盛りだくさんのイベントとなりました。参加者、ボランティアを合わせて1000名以上の方に来ていただきましたなど、函館市民の国際交流/協力への関心の深さがうかがわれました。

(国際協力推進員(函館) 岡田)



フラダンスを楽しむ!!
(「地球まつり」の1ショット)



函館の国際協力推進員の連絡先:

T E L:0138-22-0770 E-MAIL:jicadpd-desk-hakodate@jica.go.jp

住 所:函館市元町14-1 財団法人北海道国際交流センター内